

与謝野町 洪水・土砂災害ハザードマップ

保存版

北部版

与謝野町では、住民の皆様に関防に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的にハザードマップを作成しました。大雨によって、野田川および三田川・男山川がはん濫した場合に想定される浸水区域や、土砂災害のおそれのある箇所、避難施設などの防災施設を掲載しています。いざというときに備え、次のようなことを確認しておきましょう。

自宅周辺の災害の程度

情報の入手先

避難所までの経路

非常持ち出し品の準備

警戒レベルと避難情報			
警戒レベル	避難情報等 (与謝野町発生)	防災気象情報 (気象庁発表)	とるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	大雨特別警戒	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	土砂災害警戒情報	いまだ安全な場所へ全員避難。避難指示(緊急)が発令された場合は、速やかに指定避難所に避難しましょう。指定避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所から避難しましょう。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警戒	高齢者や要介護者等は避難。高齢者、雨がいつの間にかある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報・大雨注意報等		ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
警戒レベル1	早期注意情報		最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。

避難情報の伝達経路

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。

与謝野町役場 TEL.0772-43-9000

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告

避難指示(緊急)

消防団員・警察官・自主防災組織
広報車、個別訪問

防災行政無線・音声告知放送・サイレン

テレビ・ラジオ・インターネット

町民のみなさん

避難の心得

いざというときに、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、すばやく避難しましょう

避難情報などが発表されていないくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

防災メモを持とう

高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

安全なルートで避難しましょう

避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を歩きましょう。

避難所では指示に従いましょう

避難所にいらした、避難所担当者の指示に従い、住所・氏名等を報告しましょう。

非常持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

インターネットによる情報の入手先

気象庁ホームページ

http://www.jma.go.jp/jma/

台風情報や気象予報、土砂災害警戒情報の発表状況、またレーダーによる全国の降雨状況などが確認できます。

京都府土砂災害警戒情報

https://d-keikai.pref.kyoto.jp/top.aspx

地中の雨量と降雨量の関係に基づき、土砂災害が発生する危険性などが確認できます。

京都府河川防災情報

http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/

町内2箇所(石川・堂谷橋、算所・寺田橋)の野田川の水位や雨量情報が入手できます。

京都府道路情報提供システム

http://dobokubousai.pref.kyoto.jp/douro/yukimichi/index.aspx

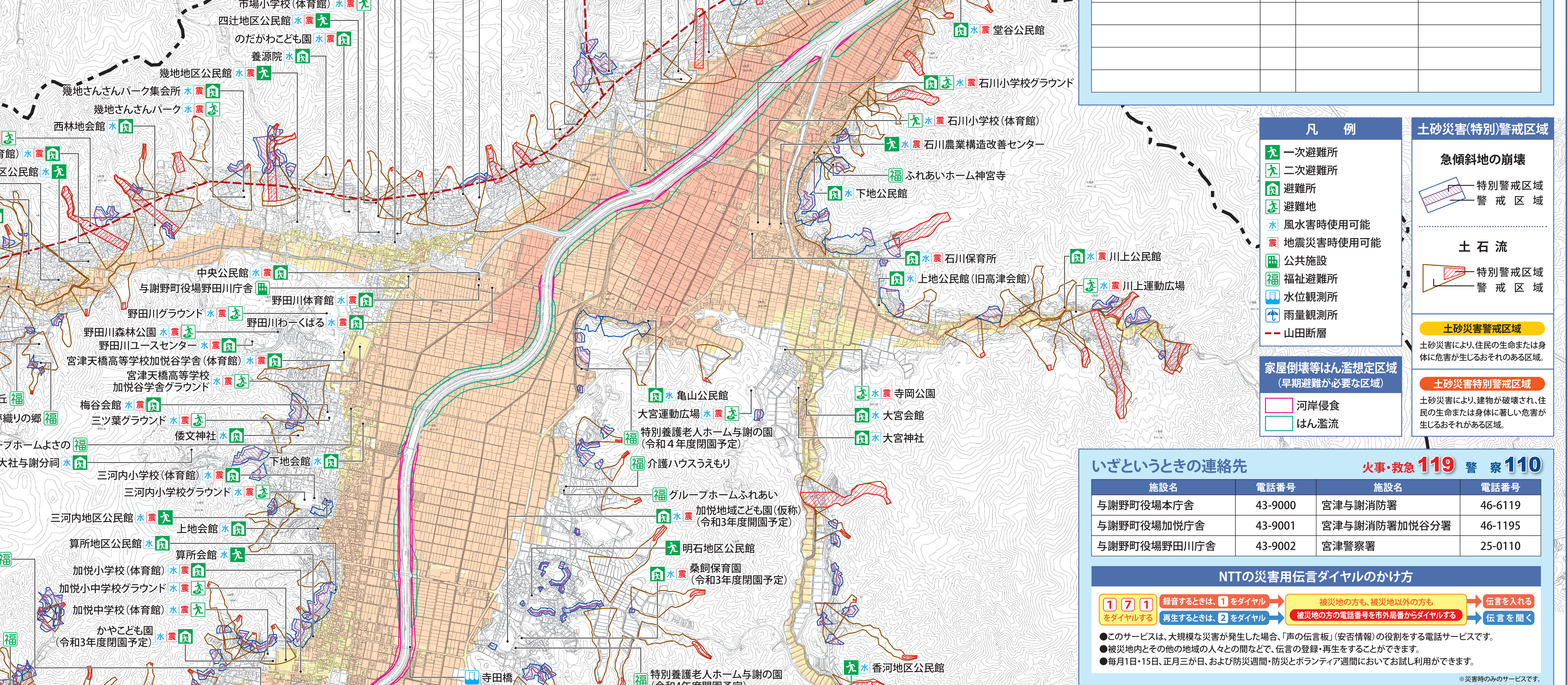
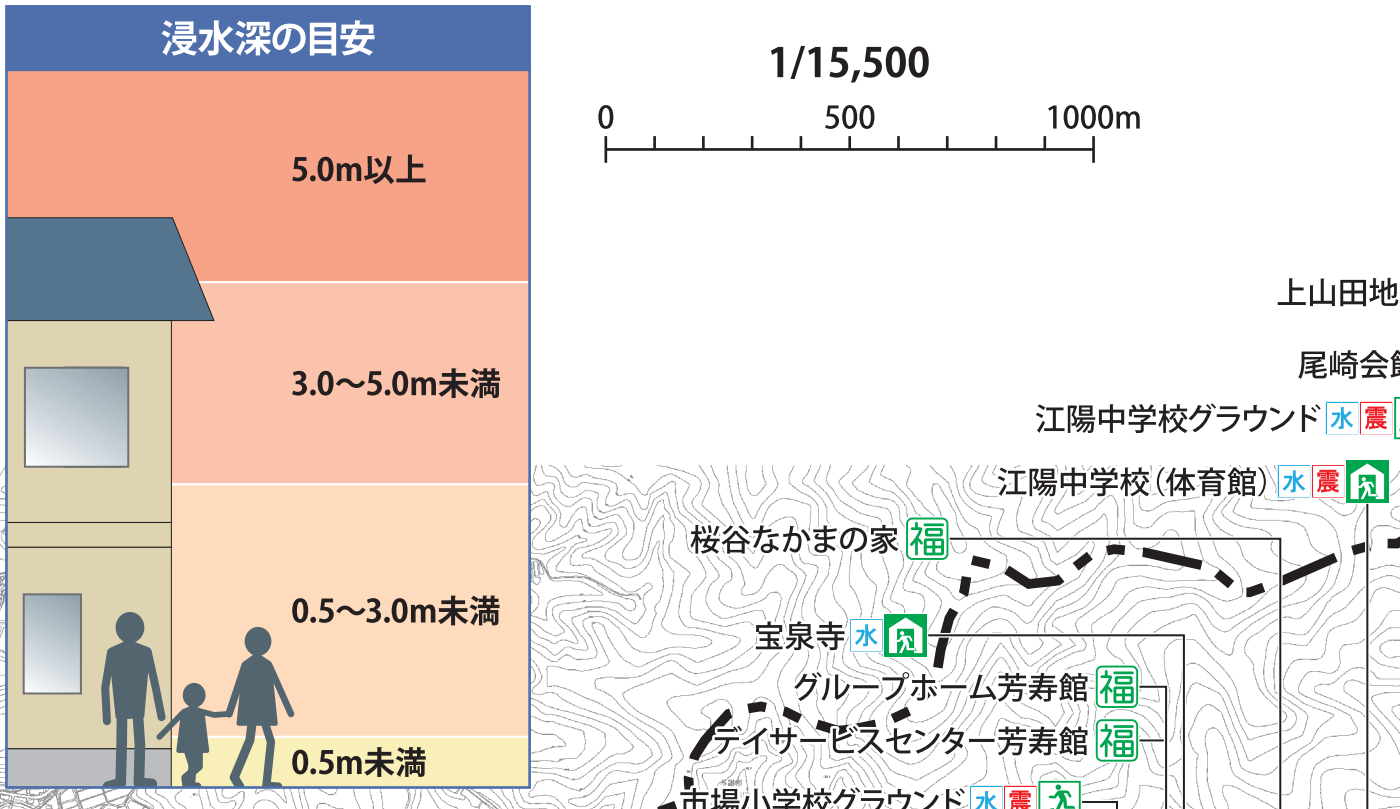
京都府が管理する国府道の道路規制の情報の他、京都府が設置する積雪観測所(町内7箇所)の積雪情報が入手できます。

雨の強さと降り方					
1時間雨量と予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る	●どしゃ降り。	●ハケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りて足元がぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。	●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のけがれのおそれがある。	●山崩れ、けがれが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土砂流が起りやすくなり、土砂災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生のおそれがある。

大雨・洪水に関する注意報・警戒について

次のような場合に、気象庁から「注意報」「警戒」「特別警戒」が発表されます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警戒	大雨特別警戒
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警戒」よりもはるかに高い危険度
大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨により、重大な浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	※「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警戒の設定はありません。



このハザードマップについて

●このハザードマップに示す浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨を想定し、府が行った解析によるもので、野田川および三田川・男山川がはん濫した場合の浸水状況を示しています。

野田川流域	三田川流域	男山川流域
24時間総雨量: 584mm	6時間総雨量: 399mm	6時間総雨量: 399mm

※この想定は他の支流川や内水、高潮によるはん濫等は考慮していません。
※この想定以上の降雨が発生した場合は、さらに浸水区域が広がったり、想定浸水深が深くなることもありますので、はん濫による被害がない地域でも注意してください。

●このハザードマップに示す土砂災害(特別)警戒区域は、京都府知事から「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」に指定されている土砂災害の発生するおそれのある箇所や区域を示しています。

●洪水や土砂災害に対しては、事前の備えを行うことで被害を軽減することができます。雨の降り方や浸水の状況に十分注意し、早めに避難することを心がけましょう。そして、いざというときに備えて、普段から次のようなことを心掛けておくようにしましょう。

■家の周りの点検と整備 ■避難に関する情報はどのように入手するか

■どの場所に逃げるか ■避難所に避難する経路に危険な箇所はないか

●地図に着色されている浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域以外のところでも、雨の降り方などにより、浸水災害や土砂災害が発生する可能性もありますのでご注意ください。

●過去に浸水した箇所やその他の危険箇所をこの地図に書き込んで「わが家のマップ」として利用しましょう。

避難施設について

九 一次避難所

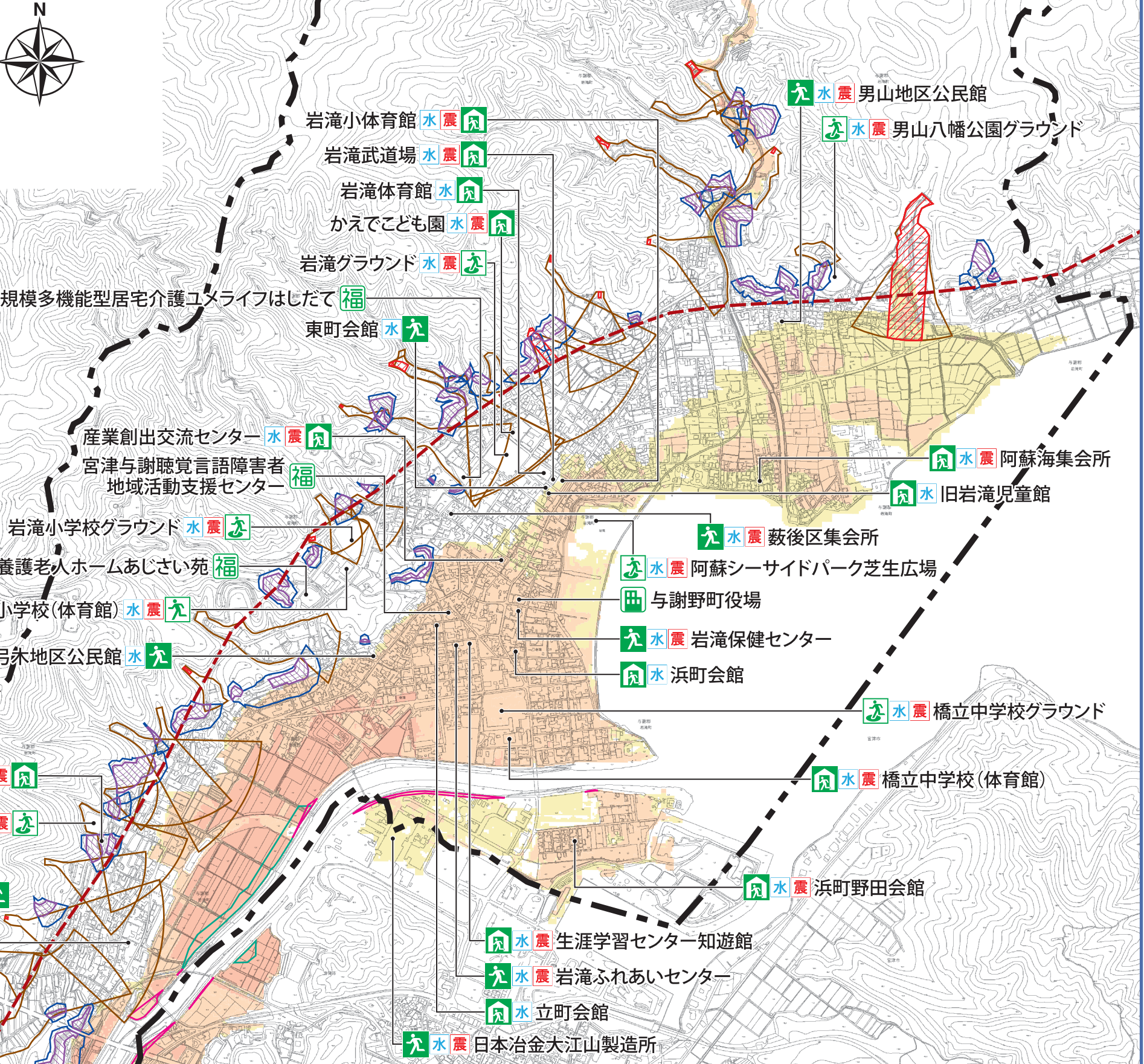
町と区により優先的に開設される避難所

九 二次避難所

町が開設する必要があると判断した場合に開設される避難所

福 福祉避難所

通常の避難施設での生活が難しい方がいる場合に、状況に応じて開設される避難所



わが家の防災メモ

わが家の避難先(親類宅・避難所など)

家族がはなればなれになった時の集合場所

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

凡例

九 一次避難所

九 二次避難所

九 避難所

九 避難地

九 風水害時使用可能

九 地震災害時使用可能

福 公共施設

福 福祉避難所

九 水位観測所

九 雨量観測所

九 山田断層

家屋倒壊等ははん濫想定区域(早期避難が必要な区域)

九 河岸侵食

九 はん濫流

土砂災害(特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊

九 特別警戒区域

九 警戒区域

土石流

九 特別警戒区域

九 警戒区域

土砂災害警戒区域

土砂災害により住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害により、建物や破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

いざというときの連絡先

火事・救急 119 警察 110

施設名	電話番号	施設名	電話番号
与謝野町役場本庁舎	43-9000	宮津・与謝消防署	46-6119
与謝野町役場加悦庁舎	43-9001	宮津・与謝消防署加悦谷分署	46-1195
与謝野町役場野田川庁舎	43-9002	宮津警察署	25-0110

NTTの災害用伝言ダイヤルのかけ方

171 録音するときは、1 をダイヤル

再生するときは、2 をダイヤル

被災地の方も、被災地以外の方も

被災地の電話番号を市外局番からダイヤルする

伝言を入れる

伝言を聞く

●このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。
●被災地内とその地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。
●毎月1日・15日、正月三日日、および防災週間・防災とボランティア週間においてお試利用ができます。

※災害時のみのサービスです。